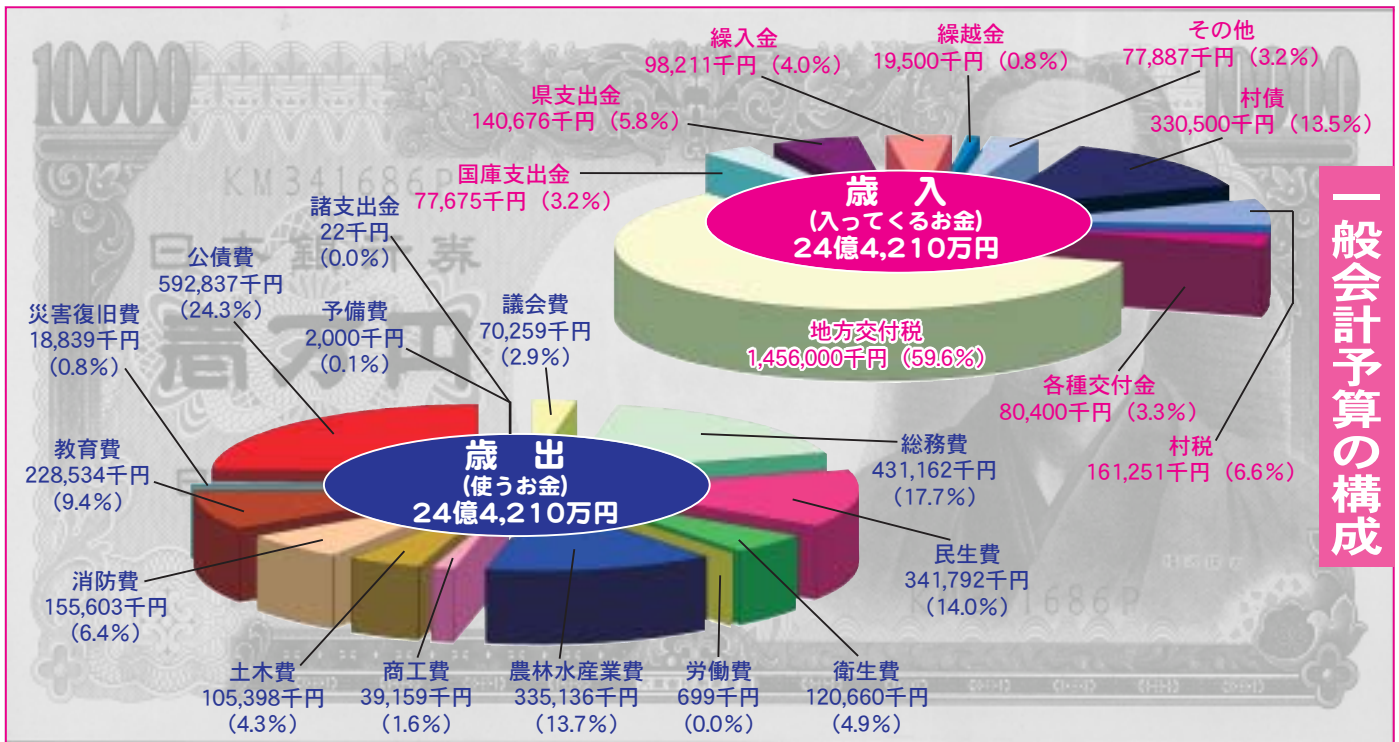


15年度の村の予算は一般会計で24億4,210万円

教育文化の充実、産業振興や福祉のサービスが重点です。



効率的な財政運営を進める平成十五年の当初予算が、三月初旬で決まりました。一般会計（議会費から予備費まで、村の基本的な仕事に充てるお金）は二十四億四千二百十万円、前年度に比べ8・2%の減となっています。

厳しい財政状況の中ですが、教育文化の充実と産業の振興、生活環境基盤の整備、福祉サービスに重点が置かれた予算編成となっています。

収入の主なもの、村が事業などを行うために国などから借り入れるお金は、三億三千五百十万円、13・5%、国から交付される地方交付税が十四億五千六百万円で59・6%、国・県などからの補助金も国・県支出金が二億一千八百三十五万円、9・0%、皆さんが納めた村民税、固定資産税などの税金も村税、基金からの繰入金な

将来を展望し 効率的な財政運営を図る

どを含めた自主財源は三億五千六百八十四万円、15・0%となっています。

支出を目的別に見ると、国や県などへの借入金返済のための公債費が全体の五億九千二百八十三万円、24・3%、産業基盤整備のための農林水産業費が三億三千五百十三万円、13・7%、少子高齢化社会に対応した福祉サービスなどの民生費が三億四千七百七十九万円、14・2%、村有財産管理や庁舎管理などのための総務費が四億三千百十六万円、17・7%となっています。

景気が低迷を続ける中、厳しい財政環境ですが、「北緯四〇度東端の地球村ふだい」の将来を展望し、限られた財源の効率的運用、行財政の健全化、行政水準の向上を図り、村民の皆さまのため、公正・公平に大切に使っていきます。



白井鳥居線道路舗装工事は本年度完成予定